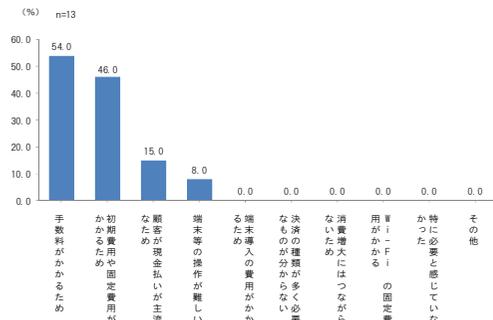
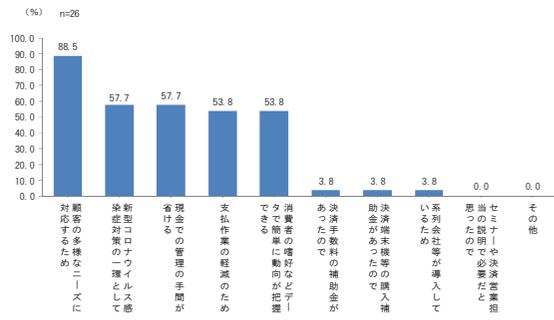


# 令和2年度 県内キャッシュレス導入実証及びBe. Okinawa Free Wi-Fi推進委託業務 報告書〈概要版〉

## 1. キャッシュレス決済端末効果検証調査

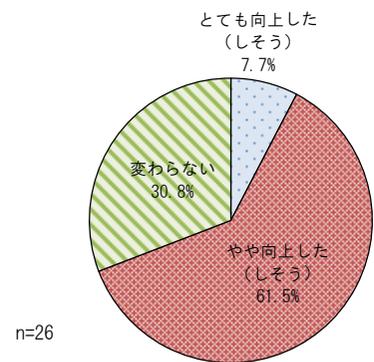
- ① キャッシュレス決済端末を導入した理由 ② 今までキャッシュレス決済端末を導入していなかった理由



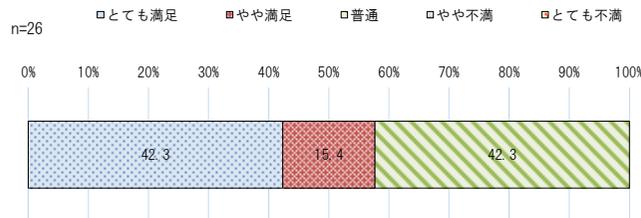
顧客の多様なニーズに対応するため	88.5%
新型コロナウイルス感染症対策の一環として	57.7%
現金での管理の手間が省ける	57.7%

手数料がかかるため	54.0%
初期費用や固定費用がかかるため	46.0%
顧客が現金払いが主流のため	15.0%

- ③ キャッシュレス決済端末を導入した後、売上げの向上や見込み



- ④ キャッシュレス決済端末を導入した満足度



- コロナ禍におけるキャッシュレス決済端末の導入は、「多様なニーズ」や「安全な決済方法」など利用者が求めている支払い環境の整備が重要となります。
- キャッシュレス決済での支払いが、半数の事業所が増えたとの回答があり、withコロナにおける観光客の受入環境整備の一環として事業所の売上げにつながる事が予想されます。
- キャッシュレス決済端末の導入の満足度、推奨度については、非常に高く、決済端末への期待が見られます。今後のNew normalの生活様式に変わっていく支払い手段として推進していくことが望まれます。

## 2. 県立中部病院感染症内科 医師 高山義浩 氏より

「コロナ禍におけるキャッシュレスの有用性」以下の助言を頂いた。

「沖縄県で推進しているコンタクトレス決済は、コロナ対策上は有利。物を介しての感染はコロナにおいて比較的多く起きているので、キャッシュレス決済を増やすことで小売店、飲食店での感染リスクを減少させる効果が期待できると考える。また、キャッシュレス決済の導入・利用促進を進めることで、感染対策を心がけているというメッセージにもなる。どれだけコロナ対策につながるかは未知数ではあるが、出来ることはきちんとやっていると見せることは、インバウンドの方へのメッセージとしても強いと考える。」 高山義浩 医師より

- ⑤ 沖縄県におけるBe. Okinawa Free Wi-Fi 月別アクセス数



- ⑥ [Wi-Fi利用増減率]と[入域観光客増減率]の比較



- ⑦ 第1回緊急事態宣言(4月16日～5月25日)は大幅にアクセス数下がったが、その後、入域観光客数が元の水準に戻っていないにも関わらず、Wi-Fiのアクセス数は伸び続け、前年対比は118.0%という結果だった。

- ⑧ Be. Okinawa Free Wi-Fi リクエスト言語

Be. Okinawa Free Wi-Fi Log data Report

リクエスト言語

言語	件数
英語(アメリカ)	96,050件
ベトナム語(ベトナム)	31,793件
中国語(繁体字)	12,818件

- ⑧ Be. Okinawa Free Wi-Fiオーナー向けサイト Be. Okinawa Free Wi-Fiアンケート画面設計

▽沖縄県庁サーバーに移管

▽多言語アンケート設計

日本語  
英語  
繁体字  
簡体字  
韓国語

〈総括〉  
県による補助制度(端末導入費補助)でキャッシュレス決済端末導入店舗をさらに増加させることが重要。また、Be. Okinawa Free Wi-Fiにおいても、アクセス数の増加に対してアクセスポイントが減少している懸念があるため、導入支援施策を協議会を通して検討していくことも必要である。